

いとう

衆議院議員

のぶ ひさ
信久



維新の改革、 泉州を前へ

日本維新の会

本号では、いとう信久さんの
目指す政策などをお伝えします。

衆議院議員
プロフィール

いとう信久

1964年生まれ。

神戸大学医学部医学科卒業、大阪
市立大学大学院医学研究科修了、
ウイルス学医学博士。

伊東くりにつく みどり診療所(泉
南)院長 / メゾン・デ・サントネール

泉佐野・阪南 顧問医師 / 貝塚ラ

イオンズクラブ会員 / 泉

佐野商工会議所会員 /

岬ラグビースポーツ

少年団コーチ

衆議院議員(現在
3期目)。財務金融
委員会理事、地域
活性化・こども政
策・デジタル社会
形成に関する特別委員会。



熊取町長

藤原としじ 3期目へ!

さん



1月21日に投開票され
た熊取町長選挙において、
大阪維新の会・公認の
藤原としじさんが3期目
の当選を果たしました。
これまでの2期8年間で
は子育て・高齢者・低所
得者に対する政策に力を
注ぎ、また町長報酬の
20%カット・退職金制

度の廃止で4,330万円の財源を、自らの身を切る改革
により生み出してその覚悟を示してきました。新たな任期
の中で、今までの政策を継続させながら更に熊取町を活
性化されることを期待します。維新大阪19区の支部長と
して、いとう信久は熊取町としっかりと連携を図り、
共に泉州の発展に努めてまいります。



伊東だからできる、維新だからできる。

2023年臨時国会における国会活動要旨

政務調査会副会長・財務金融部会長に就任



臨時国会より、日本維新の会国会議員団の政務調査会副会長及び衆議院財務金融部会長に就任しました。

岸田政権が目指す「新しい資本主義」は未だどのような経済を目指しているのか分からず、政策の核がどこに置かれているのか国民にまったく理解されていません。元日に起きた能登半島地震における被災者等への支援は、長期に渡り対応していくことが必要ですし、まさに国民の生命と財産を守るという最も重要な責務を現政権が果たしていけるのか、我々がしっかりと監視していく必要があります。

財務金融委員会にて

11/8

「岸田政権下における新たな経済対策」・「減税効果・減税と増税の両立・社会保険料減免」・「税収の「十分性」・予備費・イールドカーブコントロール政策」に関連する質疑

政府が行おうとする減税施策が今後予定される防衛費・少子化対策増税と矛盾していることを踏まえて、財政規律の問題やその実施期間など具体的な中身について質疑しました。増大する予備費の扱いも使用決定後の使用理由と積算の根拠、そして実績を国会に示したりするなど、民間なら普通に求められることが国の予算で出来ていないことは問題があるとの指摘をしました。

地域・こども・デジタル特別委員会にて

11/14

「ふるさと納税制度」・「自治体DX」に関連する質疑

地方がその財源の一つとしているふるさと納税制度は10月に募集適正基準・地場産品基準が改正され、自治体や利用者に混乱が生じています。規定されている熟成肉の基準や5割基準の根拠など、泉佐野市が総務省に送った質問書の回答に対する確認を含め、関連する内閣府・総務省・農水省にそれぞれ質疑しました。また泉南市の山本市長と意見交換して得た自治体が抱えるDX問題について政府の支援策の確認やリカレント教育の活用など提案しました。

衆議院 本会議にて

11/20

「政府の財政演説」に対する質疑

補正予算が提出され、政府の財政演説に対して、日本維新の会を代表して衆議院本会議にて岸田総理への質疑に立ちました。税増収分の「還元」の形で経済対策を行うとの説明は、現実には国債を発行して行う経済対策でありバラマキです。また財政の平時への回帰やコロナ禍以降の社会の変化に対する適応等、経済政策が日本の成長にいかに関与していくかを問い、日本維新の会の行財政改革、社会保障制度改革の提案をしました。



総務委員会にて

12/6

「ふるさと納税制度」・「PCB廃棄物処理」に関連する質疑

ふるさと納税制度については、改めて地場産品の基準変更の経緯を確認し自治体における影響についての見解と、現在の中小企業支援について説明を求めました。PCB廃棄物処理については、今後環境問題が起きる可能性について述べるとともに、規模の小さな企業に負担が生じている状況について説明しました。

2024年も

維新

私たちの改革は
立ち止まりません。

